



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

12月園だより

令和4年11月25日
November 25, 2022

園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai



エールを力にして

園長 河合 晴美

11月は日の暖かさに恵まれ、色鮮やかな木々に囲まれた園庭で、子どもたちが戸外遊びを十分に楽しんでいました。先日は、保育参加と南山まつりに御参加いただくとともに、多大な御協力をいただきまして誠に感謝申し上げます。みんなで輪になり笑顔で楽しむことが「南山幼稚園らしさ」だと改めて感じることができました。ありがとうございました。

子どもたちが元気いっぱいに自分を表していく姿を、12月には生活発表会という形でご覧いただきたいと思います。各学年子どもたちの興味をもとに、自分たちで動きや言葉を表しながらひとつの話を「劇」という形にしていきます。毎日の取組では、話に親しみながら、その時、その場の雰囲気の中で表現をすることを楽しんでいく姿となります。日々、より楽しんでいくことでいわば進化していくため、幼児の劇は、遊びとして進める「劇遊び」という形で言われます。

3歳児は、教師の言葉を聞きながら話の世界に入り、展開を楽しみます。4歳児は、動きや言葉を少しずつ自分たちで表していきます。5歳児は、話をつくるところから始まり、登場人物や話の展開を想像し、考えを出し合いながらつくりあげていきます。どの学年も自分たちだけのものとして、できた満足感や達成感を味わえるようにします。そして、それぞれ自信がもてるようにしていきます。当日を楽しみにしていきましょう。

最後に、先日皆さまからいただいた幼稚園に対するコメントでは、温かいお言葉をたくさんいただきました。(詳細をホームページに掲載しました)南山幼稚園のよいところとして、日当たりがよいことや生き物、自然に関することが多く寄せられました。また、地域に見守られていることや小学生との交流、国際色豊かという人との関わりについても多く挙げられました。さらに、教育活動の工夫や園の雰囲気にも触れていただき、感謝いたします。これらのコメントから今後も大切にしていきたいこと、さらに豊かにしていくことを考え「幼稚園の強み」として位置付けてまいります。そして、幼稚園に対する力強いエールと捉え、これらを励みにさらによりよい教育活動に向けて努めてまいります。



<各学年の表現活動>